

関西支部第13回学生研究論文発表会の開催報告

関西支部運営委員 横田明紀 (よこた あきのり)
立命館大学経営学部

1. 概要

毎年恒例となりました関西支部主催の第13回学生論文発表会を、2018年2月24日(土)に立命館大学大阪いばらきキャンパスにおいて開催いたしました。この発表会は経営情報関連の研究を行っている学部、修士・博士前期課程、ならびに博士・博士後期課程の学生に勉学・研究の成果を発表する機会を与え、質疑応答を通じてよりよい研究へと発展させるための一助とし、優秀な発表を選定して表彰することにより経営情報関連分野の研究・教育の発展に資することを目的に開催しております。

2. 発表会について

今回は卒業論文2件、修士論文9件の推薦がありました。1件がキャンセルとなったため、最終的に10件の発表がありました。それぞれの発表者とタイトルは、以下の通りでした。

発表者の氏名とタイトル

卒業論文の部 (2件)

森松琢弥 (大阪府立大学現代システム科学域)
BtoE サービスにおけるスマートフォンアプリを利用した
購入システムの構築とビジネスモデルの提案

山田良治 (近畿大学経営学部)
ディープラーニングを用いた競馬予測精度改善の検証

修士論文の部 (8件)

清水創己 (日本大学大学院生産工学研究科)
CSRが生む組織の自尊感情に関する実証研究

葛 明恵 (兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科)
ICTの普及が学生の読書習慣に及ぼす影響に関する分析

鮑 強 (兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科)
南海トラフ沿岸部における津波浸水想定域人口の推定
一三重県、和歌山県、大阪府、兵庫県、徳島県、高知県
を対象に—

坂上博俊 (近畿大学大学院総合理工学研究科)
クラウドを用いた強制実行型情報セキュリティ教育システムに関する研究

亀井達樹 (兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科)
ソフト防災を有効に機能させるアプリケーションの開発

王 源 (兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科)
自治体の外国人向け観光紹介ウェブサイトおよび生活情報ウェブサイトの現状と課題

王 霏斐 (兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科)
文化資本が学生の美術鑑賞に及ぼす影響に関する分析

酒井瑞樹 (大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科)
BLEビーコンを用いた屋内における巡回行動の移動軌跡
推定手法の提案

1人あたりの報告時間を学部の学生は発表10分・質疑5分、修士の学生は発表15分・質疑10分と定め、研究内容についてのプレゼンテーションと活発な質疑応答が行われました(写真1)。また、各発表者からは、事前にそれぞれの論文の研究内容をまとめた予稿を4ページで作成していただき、それらをまとめた予稿集の発行も行いました。



写真1 発表の様子

3. 表彰式について

関西支部の運営委員のメンバーで構成する審査委

員会によって、各発表者の予稿、発表、および質疑の内容を審査し、最優秀賞と優秀賞を贈呈しました。厳正なる審査の結果、最優秀賞には大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科の酒井瑞樹さん（写真2）、優秀賞には日本大学大学院生産工学研究科の清水創己さん（写真3）が決定しました。



写真2 最優秀賞の授与



写真3 優秀賞の授与

4. おわりに

最後に森田裕之関西支部長より発表会のまとめとなる講評が行われ、発表者全員に対し

- ・これまで取り組んできた成果をどのように活かすことができるのか
- ・研究してきたことの貢献はどこにあるのか
- ・自分の研究の良さをどのように客観的に示せるのか

といった点について今後も継続して考えて欲しいと伝えられました。今回の発表会には学生、教員、企業などから合計23名の参加がありました（写真4）。また、発表会終了後は場所を変え、発表者とさらに深い議論を行うことができました。

次年度も第14回の学生研究論文発表会を開催予定です。全国から多数のエントリーをいただけるよう、お待ちしております。



写真4 受賞者を囲んでの記念写真